

学校評価の4点セット
計画作成、検証改善における
留意点について

大分県教育庁竹田教育事務所

平成31年度 学校評価の4点セット

(様式1)

〇〇市立〇〇〇〇学校 校長 〇〇 〇〇 平成31年度 学校評価の4点セット

(第 〇 回計画 ・ 第 〇 回評価)

学校の教育目標:				確認・検証・改善 (月)					学校関係者評価 (月 日)		
学校の教育目標表現 を踏まえた 重点目標	重点目標に係る 基となる 達成指標	達成指標を達成する 手は立つための 重点的取組	重点的取組に係る 具体的な 取組指標	担当	取組 の実 施 率	取組指標に対する 取組状況の確認	達成指標に対する 達成状況の確認	達成指標・取組指標 の妥当性を 検証	改善方策	考察	評価
<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-right: 5px;">重点目標</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-right: 5px;">達成指標</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-right: 5px;">重点的取組</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-right: 5px;">取組指標</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px; border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">4点セット</div>											
	学校										
	家庭										
	地域										
	学校										
	家庭										
	地域										

必ず、今年度の様式で御提出ください！

「様式1【計画上の留意点】」：＜計画の記載要領＞

(様式1)

〇〇〇市立〇〇〇〇学校 校長 〇〇 〇〇

平成31年度 学校評価の4点セット

(第 〇 回計画 ・ 第 〇 回評価)

＜計画の記載要領＞

学校の教育目標:									
学校の教育目標実現のための喫緊の課題を踏まえた重点目標	重点目標に係る目指すべき子どもの姿となる達成指標	達成指標を達成するまたは近づくための重点的取組	重点的取組に係る具体的な取組指標 ※誰が、何を、どれくらいの頻度で	担当	考察	評価			
		学校							
		家庭							
		地域							
		学校							
		家庭							
		地域							
		学校							
		家庭							
		地域							

学校の教育目標の設定(見直し)に当たっては、「育成を目指す資質・能力」の三つの柱を踏まえることが大切!

☆冊子冊子「芯の通った学校組織」推進プラン第2ステージのP49「(新)学校評価の4点セット様式例」
☆冊子「新学習指導要領への移行スタート」
☆冊子「学校全体で組織的に進めるカリキュラムマネジメント」等を参考にしてください。

①重点目標：学校の教育目標実現のため、前年度末の検証結果を踏まえた喫緊の課題（残された課題・新たな課題）に対応する重点目標を1～3つ設定。
○新学習指導要領を踏まえた学校教育目標の見直しを行った場合には、重点目標との整合性の確保に留意。
○学校の実態に即して可能な限り具体化・焦点化されたものとなるよう意識すること。（重点目標が児童生徒等の実態に即したものとなっているか）

②達成指標：重点目標が達成されたときの児童・生徒の姿＝目指すべき児童・生徒の姿（姿容）の指標。
○数値化し、検証が可能なものとする。

③重点的取組：重点目標に対して、その達成につながる（＝達成指標を達成するための）具体的な取組内容。
○各重点目標に対して1～3つ程度に絞り込む（学校）。
●家庭の欄は、保護者が主体となる表現で記載する。
●地域の欄は、地域の方が主体となる表現で記載する。
※具体的な取組内容を記載するので、達成指標（到達像）は記載しない。

④取組指標：重点的取組を進めていく上で「誰が」「何を」「どのくらいの頻度で」行うかを具体的に表した指標。
○重点目標達成に向けた検証・改善を図るには「誰が」「何を」「どのくらいの頻度で」行うかを可能な限り書き込んだ具体的な取組指標の設定が前提。
○取組状況を定期的に把握でき、短期の検証・改善に適したものを設定する。
●家庭の欄は、保護者が主体となる表現で記載する。
●地域の欄は、地域の方が主体となる表現で記載する。

⑤担当：取組を推進するチーム名や部会名及び担当主任。

「学校評価の4点セット」に学力向上、体力向上、いじめ・不登校対策に関する内容を設定する場合は、学力向上、体力向上、いじめ・不登校対策の各プランの相互関連性を意識しながら、①～④の内容を設定していくことが重要。
特に「学力向上プラン」(3月提出分)の「次年度の具体的な取組」を踏まえ、重点的取組、取組指標等を設定すること。

計画における全般的なチェックポイント

- 新年度の「学校評価の4点セット」等の策定に当たり、**前年度末の検証結果を踏まえた喫緊の課題（残された課題・新たな課題）**を重点目標として設定している。
- 「学校評価の4点セット」に学力・体力向上、いじめ・不登校等に関する内容を設定している場合、「学校評価の4点セット」に学力向上、体力向上、児童生徒支援対策の各プラン（以下「各プラン」）の内容が反映されている。
- 特に「**学力向上プラン**」（3月提出分）の「**次年度の具体的な取組**」を踏まえ「学校評価の4点セット」の重点的取組、取組指標等を設定している。
- 「**様式1【計画上の留意点】**：<計画の記載要領>」を参照している。

①重点目標設定におけるチェックポイント

- 学校の教育目標と重点目標は、整合性がある。
- 重点目標は、昨年度末の課題を継承し、今年度の学校の喫緊の課題である。
- 重点目標は、可能な限り具体化・焦点化している。

(例)

学校の教育目標

言葉を通して仲間や地域の方と協働し、新たな価値を創造していこうとする子どもの育成

重点目標

- 既習事項をもとに論理的に伝え合う子どもの育成
- 対話や話し合いを通して自分の考えを広げる子どもの育成
- 主体的に健康な体づくりをすすめる子どもの育成

②達成指標設定におけるチェックポイント

- 達成指標は、重点目標が達成された時の児童生徒の姿（目指すべき子どもの姿）となっている。
- 達成指標は、アンケート結果ではなく、評価結果として数値化されており、検証可能なものである。

(例)

重点目標

- 既習事項をもとに論理的に伝え合う子どもの育成

達成指標

- 「既習事項を新たな課題解決に生かしている」のA回答児童80%以上
- 単元テストの思考・判断・表現の観点の目標値を超える児童の割合70%以上
- 「授業中自分の考えを持っている」のA回答児童90%以上

③重点的取組設定（学校）におけるチェックポイント

- 重点的取組には、重点目標に対して、その達成につながる（＝達成指標を達成するための）具体的な取組内容（日常的な取組）を設定している。
- 学校の重点的取組は、各重点目標に対して1～3つ程度に絞り込まれている

（例）

重点目標

- 既習事項をもとに論理的に伝え合う子どもの育成

重点的取組

- 既習との違いや解決に向けた困りを明確にした課題の設定
- 既習事項を活用した自己解決の時間確保
- ペア・グループ内で、自己決定したものを表現させる
- 学習用語の確実な定着をめざした個に応じた補充指導
- 家庭学習の徹底

③重点的取組設定（家庭・地域）におけるチェックポイント

□家庭の欄は、保護者が主体となる表現で記載している。

□地域の欄は、地域の方が主体となる表現で記載している。

（例）

重点目標

- 既習事項をもとに論理的に伝え合う子どもの育成

家庭の重点的取組

- 家庭学習時間の確保とチェック
- テスト結果の把握

地域の重点的取組

- 生活科・総合的な学習の時間でのG Tとして、世代を越えた思いを語り合う

④取組指標設定（学校）におけるチェックポイント

- 取り組むことにより、重点目標達成に近づく具体的な取組指標を設定している。
- 取組指標には、重点的取組を進めていく上で「誰が」「何を」「どのくらいの頻度で」行うかを具体的に記載している。
- 設定した取組指標は、取組状況を定期的に把握でき、短期の検証・改善に適したものである。

（例）

重点的取組：ペア・グループ内で、自己決定したものを表現させる
取組指標

- 担任（授業者）は、ホワイトボードや思考ツールを活用し、目的を持った話し合い活動を1日1回は設定する

重点的取組：学習用語の確実な定着をめざした個に応じた補充指導、家庭学習の徹底

取組指標

- 担任（授業者）は、個別指導の必要な児童に対し、放課後週2回の組織的な補充指導の実施

④ 取組指標設定（家庭・地域）におけるチェックポイント

□ 家庭の欄は、保護者が主体となる表現で記載している。

□ 地域の欄は、地域の方が主体となる表現で記載している。

（家庭の設定例）

重点的取組：家庭学習時間の確保とチェック

取組指標

○ 保護者は、宿題の取組状況を毎日チェックする。

重点的取組：チェックテスト結果の把握

取組指標

○ 保護者は、単元テスト結果を翌日に子どもと共有する。

（地域の設定例）

重点的取組：生活科・総合的な学習の時間でのG Tとして、世代を越えた思いを語り合う

取組指標

○ 2ヶ月に1度は各学年（クラス）で実施されるG T活動に参加する。

検証・改善における全般的なチェックポイント

- 検証・改善は、「少なくとも学期に1回」となっているが、必要に応じて、更に短いスパンの検証・改善（取組指標・達成指標等）を実施している。
 - 検証では、達成指標の達成状況を確認するだけでなく、取組指標で決めた内容に実際どれくらい取り組めたか、取り組めなかったとしたらどこに課題があったのかをしっかりと確認している。
 - 「様式1【検証上の留意点】：＜評価の記載要領＞」を参照した。
- ※ 「学校評価の4点セット」は、県教育委員会が提出を求めている検証改善ツールですが、法令で定められている各学校が市教委に提出する「学校評価（結果）」でもあります。取組状況や検証改善の結果がよくわかるように記載をお願いいたします。

①実施率におけるチェックポイント

- 取組指標で設定したことが、どのくらい行えたかをパーセントで表している。
- 客観性の高い方法で実施率を明示している。
 - ※取組ごとの「実施数／実施予定数」が一番客観性が高い。
 - ※4段階評価等の場合、4段階それぞれのパーセントを明示し、取組指標等の検証・改善につなげることが望ましい。
- 取組指標が複数ある場合、取組毎の実施率を明示している。
- 家庭の欄は、保護者が主体となる取組について、保護者評価や取組毎の実施率（数）を明示している。
- 地域の欄は、地域が主体となる取組について、学校関係者評価や取組毎の実施率（数）を明示している。

②取組状況の確認におけるチェックポイント

- 取組指標一つ一つに対して、取組状況を記載している。
- 実施率に対しての取組状況や具体的な取組内容等を、箇条書等で簡潔に記載している。
- 実施率をどのように算出したのか、実際の実施数等について、簡潔に記載している。
- 家庭や地域の欄は、保護者や地域が主体となる取組について、実施率に対しての取組状況や具体的な取組内容等を、箇条書等で簡潔に記載している。

③達成状況の確認におけるチェックポイント

- 達成指標一つ一つに対して、各学年や教科ごと等の達成状況（どれくらい達成できたのか）をできる限り具体的に記載している。

④ 検証におけるチェックポイント

- 「実施率」「取組状況の確認」「達成状況の確認」の結果、相互関連性を踏まえて、「取組指標は妥当か」「達成指標は妥当か」の検証を実施し、検証内容及び結果について、具体的に記入している。
 - 家庭や地域の取組指標については、「実施率」「取組状況の確認」の結果を踏まえて、「取組指標は妥当か」の検証を実施し、検証内容及び結果について、具体的に記入している。
- ※ 達成指標、取組指標が妥当か妥当でないかを記載するだけでなく、その理由（検証結果の内容）を簡潔に記載することが大切です。

⑤改善法策におけるチェックポイント

「実施率」「取組状況の確認」「達成状況の確認」「検証」の結果、相互関連性を踏まえて、

- 取組指標の見直し（改善）について記載している。
- 重点的取組の見直し（深掘り・追加）について記載している。
- 推進体制の見直しについて記載している。
- 達成指標の変更について記載している。
- その他の改善法策について記載している。